

受賞おめでとうございます
令和二年十一月五日表彰 萩市教育文化奨励賞受賞者

【文化功労賞】

伝統文化の部

木間神代の舞保存会

(代表・中村建夫)



吟剣詩舞の部

萩市吟剣詩舞連盟

(代表・高谷秀則)



茶道の部

藤原 テル (平安古町)



華道の部

堀 一子 (椿東)



短歌の部

西元 静香 (大井)



美術の部

長岡 進 (江向)



【文化奨励賞】

美術の部

佐伯 良樹 (平安古町)



令和3年度 加盟団体主要行事一覧表 (令和3年4月～令和3年9月)

月	日	時間	行事名	場所	団体名
5	23	10:00～16:30	25周年感謝 北浦歌謡フェスティバル	萩市民館	NPO法人北浦音楽芸能文化協会
	23	14:00～16:00	安田知博・津室ひとみジョイントコンサート	サンライフ萩	シアター365萩オフィス
6	4～9	10:00～17:00	萩美術協会特別展「長岡進作品展」	萩市民館小ホール	萩美術協会
	12	15:00～17:00	萩市文化協会総会	萩市民館小ホール	萩市文化協会
8	3	11:00～23:30	住吉祭 御船謡巡行	住吉神社、萩市川内55ヶ所	住吉神社「御船謡」保存会
	8	9:30～16:00	第16回吉田松陰顕彰吟詠コンクール全国大会	萩市民館大ホール	吉田松陰顕彰吟詠実行委員会
	28	15:00～17:00	京都大学交響楽団萩公演	萩市民館大ホール	萩市

※各団体から報告のあったもののみを掲載

編集後記

▼自粛生活となつて一年が過ぎました▼一線を退いて久しい私には大きな影響はないと高を括っていた矢先、我が子がオンライン授業のため帰ってきたのです。朝から晩まで、毎日毎日。そばにいる安心と同等のストレス。学校のありがたさを実感したのでした▼そんな中のさやかな息抜きは読書で、昔の本を読み返してみると、感情移入の対象が変化していたり、読み込めていなかった事実が気付いたり、意外にも楽しく気分転換になりました▼本協会も例外なく、今、催しの多くは中止され、それを受け入れるほかない日々ですが、以前のマスク無しの生活を願いながら、またワクチンに期待しながら、自分の興味あるものを身近なところで探してみるのも悪くありません▼私は感染対策を万全にして図書館に行こうと思います。

(編集委員 上田 千浩)

▼私事ですが、前会長の故齊藤武雄さんからご指名をいただき、創刊から編集に携わって、はや、二十六号を刊行するに至りました▼「萩の友」第一号の創刊は、平成二十年三月。年に二回、休刊無しで発行して十三年努めさせていただきました▼世代交代を、バトンタッチを願っています。マンネリ化、老害等の弊害を考慮し一日も早い交代を願っています▼萩の文化のため、次のトーチを高々と掲げて走ってくださいることを願っています▼メディアで毎回コロナの感染状況が報道されます。萩市の新規感染0が続いています。萩市民の感染予防への心と努力が一つになっている素晴らしい成果だと思います。このまま、一日も早い収束を願っています。

(編集委員長 大場 洋)

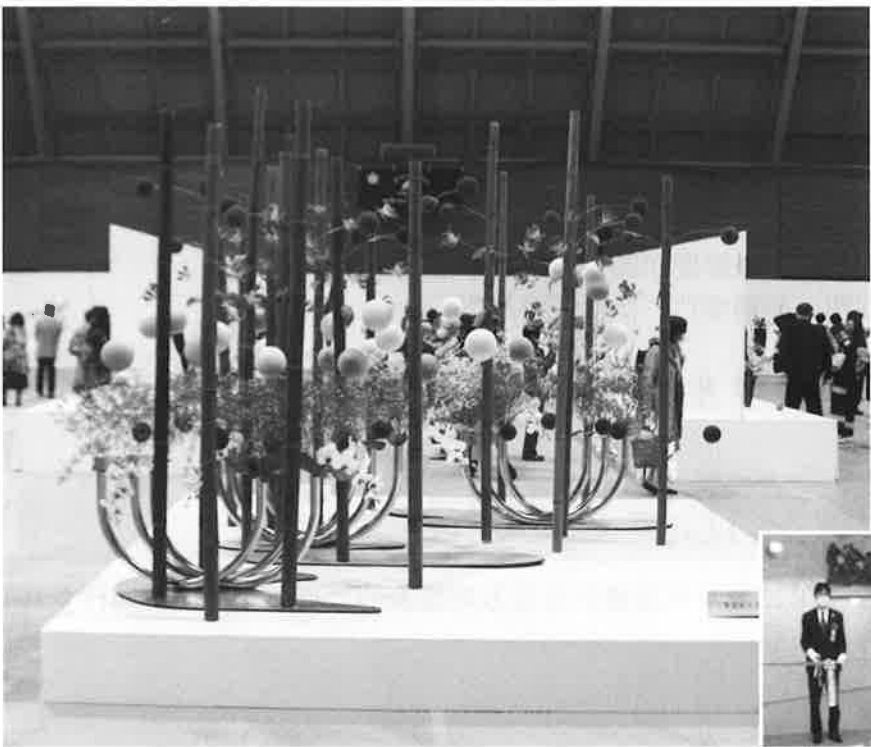
第三十七回華道家元池坊

山口県連合支部花展を開催

「繋ぎ・かがやく未来へ」

令和三年三月二十七日(土)、二十八日(日)、萩市民体育館において、百二十五点の作品が出版されて開催されました。

主催 華道家元池坊山口県連合支部



R 3.3. 27オープニングセレモニー (萩市民体育館)

一歩一歩「前へ」

会長 有富 美子



有富会長

去る三月六日、萩市総合福祉センターで「歯あわせ健口の集い」が開催されました。昨年はコロナ感染で中止になりましたが、今年は実施したいと連絡が入ったときは目の前が明るくなりました。「くちびるに歌を、声を出して健康(健口)になろう」と題して六十分、呼吸法や発声法、口腔との関わりなど、実技も入れながら講演しました。来場者には、マスク着用、検温、手指の消毒、来場者カードの記入、講演者の前にはアクリル板を置き、人が変わるたびにマイクとアクリル板を除菌シートでふき取るなど、万全なコロナ感染拡大予防がされていたのが印象的でした。

さらに、萩市総合福祉センターは二十四時間、ずっと換気もされていると聞き安堵しました。また、講演会に来られた皆さんから「来てよかった」「久しぶりに声を出せてとても良かった」「声を出して元気に生活したい」等々感想をいただきました。

私が専門の音楽や合唱は飛沫が飛ぶので、感染を恐れ学校の音楽の授業でも、まだまだ敬遠されていると聞いています。しかしながら、最近では飛沫に係る実験結果や、それに基づいたガイドラインが発表されて、合唱活動や演奏会も、萩市や県内各地、全国の各都市で再開されています。市内の文化活動も十分な感染予防をしながら、活動を再開し、一歩一歩「前へ」進めるよう願っています。

会員の皆様へお知らせ

文化活動助成のご案内

《文化活動を応援します！》

◆公益財団法人 エネルギー文化・スポーツ財団

◎助成対象期間：令和3年10月1日～令和4年3月31日までに実施される活動

◎募集期間：令和3年5月～6月予定

◎助成金額：1件あたり10～50万円 ※経費が20万円以上の活動が対象です。

◎対象：美術の展示活動、音楽の公演活動、伝統文化の保存、伝承、復活、発表活動

◆公益財団法人 三菱UFJ信託地域文化財団

◎助成対象期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日までに実施される活動

◎募集期間：令和3年5月～6月予定

◎助成金額：1件あたり20～50万円 ※経費が20万円以上の活動が対象です。

◎募集部門：音楽部門、美術部門、演劇部門、伝統芸能部門

上記の助成事業は毎年実施されていますので、対象となる事業がございましたら、まずは事務局までご連絡ください。

萩市教育文化奨励賞について

文化芸術の各分野において、多年にわたり功績がある方や将来的に更なる活躍が期待される方を対象として表彰制度があります。

・萩市教育文化奨励賞候補基準

【賞の区分】

- 1. 奨励賞** (1) 各分野において、優れた業績を持ち10年程度の活動を続け、将来的に更なる活躍が期待される者又は団体。
(2) 年齢は概ね50歳以下とする。
- 2. 功労賞** (1) 各分野において、優れた業績を持ち20年以上の活動による功績が顕著な者又は団体。
(2) 年齢は概ね50歳以上とする。
(3) 奨励賞受賞者については、受賞後概ね10年以上経過したものであること。
- 3. 特別賞** (1) 各分野において、優れた業績を持ち全国的な活動や活躍による功績が顕著な者又は団体。
(2) 各分野において、優れた業績を持ち萩市における新たな企画や活動による功績が顕著な者又は団体。

【部門】

- 文化の部** (1) 多年にわたり、芸術、文化の振興、発展及び文化財の保護に尽力し功績顕著な者又は団体。

各個人や団体におかれまして、表彰の対象となる方がいらっしゃいましたら、事務局までご推薦並びに情報提供をお願いします。

【事務局連絡先】

萩市文化協会事務局（文化・生涯学習課内） 電話：0838-25-3511 FAX：0838-25-3149

遠ざかる讃歌 ——文化の行方——

萩花鳥会 河野 健雄

人々が集う社交の場から生きる

力を得て文化は生まれる。多形式

のパーティやコンサートやシアタ

ーや展示会場にスポーツ観戦の場

から。民主主義の思想も此処から

創られた一つと云える。この思想

を建国精神の柱に掲げて多民族の

アメリカは世界に誇る超大国を築

いた。その国で第四十六代の大統

領選での敗北者が結果を容認しな

い事態から、支持者が暴徒となり

前代未聞の連邦議事堂を流血の場

に化した。自負した民主主義を自

ら蹂躪した無残な凋落振りに対象

的に、香港や仏教国ミャンマーの

市民は民主化の存亡を賭けて抗議

が止まらない。この落差を憂える

時、民主精神は時代の暗流に巻かれ

て、た易く潰されたり、奪取される

ものではなく、対話する知性で養護

して順守するものであると思うと

き、決して他国の話ではない。

日本は大戦による犠牲と引換え

に彼の国の文化を学びとり、その

精神を平和憲法の礎にしたことは

周知のことである。爾後七十六年

の歳月の中で、まこと古き良き時

代のアメリカの良識を高らかに讃

えた映像文化が何とも懐かしい。そ

れらは戦後復興期の五十年代から

続々と輸入されて、カルチャー・

ショックを受けた世代にとって、未

知の文化を詰めた玉手箱であった。

代表的な一作「十二人の怒れる

男」が世に問うたものは何か。十

二人は市民から選ばれた陪審員で

全員一致の評決で裁判官に答申し

なければならぬ。事件はスラム

街で育った十七歳の少年が父親を

ナイフで殺害する、その容疑で裁

かれる。話合いに入る前の投票

は、有罪十一人対無罪一人とな

る。一人だけ無罪に投じるが確信

はない。だがこの時点で有罪に賛

成すれば話合う余地はなく、少年

の死刑が決まる。拙速に評決して

はならない。時間はまだある。も

っと話合うべきだと熱く検証して

ゆく。互いに名も知らぬ男たちは

人間性を露に論ばつしながら、次

第に明かされてゆく真相に耳を傾

ける。終に十二人が無罪で一致す

る。有罪の根拠が如何に偏見と先

入観からであったか警鐘を鳴らし

て劇的な展開で観客を誘き込んで

ゆく。話合うことが民主主義の心

髓である、往時のアメリカが誇

る崇高な良心を謳歌して感動を呼

んだ。公開から半世紀経った今、

病める米国の国情を懸念して観る

につけ不思議な輝きがある。

人々が移動し集い親しく対面す

る、この三密を余儀なくされる暮

らしに終わりが見えない。科学文

化の恩恵によるオンラインで対話は

自由であるが、テレワークは会社

の形態を変えて更に普及するに違

いない。その分家庭と職場が渾然

一体となる功罪に覚悟を要する。

折から眼に止った一文が文化の変

貌を暗示している。

「オンラインに馴染んでしまふ、そ

の一方で人間が社会生活を送る上

で、とても大切な能力が衰え始め

ていると私は感じる。それは文化

的な暮しをデザインし、実施する

能力だ」と。

（ゴリラ専門の霊長学者。日本学術会議の前会長、山極寿一教授の弁）

生命の危機から逃れて抑圧から

解放された後に「弾けるもの」の

一つに服飾文化がある。誇らしく

堂々と街へ繰出す女性たちは、ど

んなファッション・モードを見せ

るだろうか。ポスト・コロナの何

年後、文化の様変りに気付く、

その時からこの論説は新たな脚光

を浴びるに相違ない。

令和三年二月二五日



映画ワンシーン

